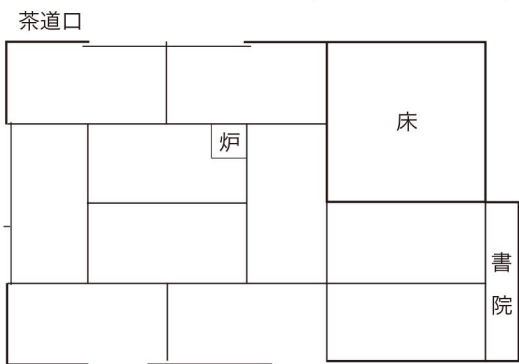


實性寺 表千家茶道の9月稽古

残月亭写し「聴松軒」での稽古

聴松軒

《聴松軒広間》



風炉



お茶湯

9月の稽古

〈5回に分けて〉

- 一、 お茶湯
- 一、 日座
- 一、 花寄せ
- 一、 一三三



日座



花寄せ



一三三

道具組

- 〔掛物〕 円窓「本来無一物」画讃
- 〔花入〕 「太鼓舟」「今宵の主」
- 「七草籠」「織部釉」
- 「鶴の一声」「青磁算木」
- 「掛置籠」「竹二重切」
- 「蒔芦」「金水引」「白むくげ」
- 「宗旦むくげ」「ぶつそう花」
- 「紫苑」「撫子」「芙蓉」「萩」
- 「紫式部」「のうぜんかつら」
- 「大判草」「ホトトギス」「たで」
- 霰東
- 土風炉
- くちなし細水指
- 竹台子

花

- 〔釜〕 霰東
- 〔水指〕 土風炉
- 〔棚〕 竹台子



釜・風炉



くちなし細水指



青磁算木



鶴の一声



七草籠



掛物



一三三

〔香合〕

桜樺細工菊紋様

炭斗

油竹

羽根

犬鷲

火箸

少庵型

灰器

青釉

灰匙

少庵型

〔茶入〕

膳所 尻張

仕服

あこだ茶器

替

綾花紋

茶碗

如心玉緞子

茶杓

鈍太郎写し

蓋置

あこぎ焼 宗完宗匠菊の

茶杓

絵「有芳」讃

建水

京焼 秋草

茶器

黒内朱

菓子器

「大あぐら」 席主作

蓋置

エフゴ

干菓子器

青磁「夜学」

菓子

青釉 松孤軒松葉

干菓子器

爪紅青漆四方

菓子

とらや「初秋」「うづら焼」

菓子

「栗粉餅」「菊の酒」「重陽」

菓子

「木賊饅」

干菓子

「麦落雁」「花煎餅」

菓子

一閑 櫛型

菓子

香炉釉

菓子

タイ産

菓子

「祥雲の昔」 柳桜園

菓子

「珠の白」 柳桜園



茶杓



茶器



蓋置



京焼 秋草



あこぎ焼



鈍太郎写し



あこだ茶器



香合

稽古の内容

天然忌にちなみ「お茶湯」「日座」「花寄せ」「一三三」

❖ お茶湯 風炉でも茶釜を茶碗にあずけ、天目茶碗をあつかう。お茶をお供えし、客に点て、そして亭主相伴もある。また、亭主(手前)自らお供えに立つこともある。

❖ 日座 準備のタイミングがとても大事。亭主の所望挨拶のタイミングも同様。

❖ 花寄せ それぞれの役割「東」「半東」「正客」「次客」「詰」の立場を考慮する。

❖ 一三三 通常の手前に比べての評価。師に入席をいただき、自分との入れ札の違いを見るのもまた勉強。

❖ 花寄せ 限られた時間、限られた花にての修練でもあり留水の意義等も。

❖ 一三三 通常の手前に比べての評価。師に入席をいただき、自分との入れ札の違いを見るのもまた勉強。

❖ 一三三 通常の手前に比べての評価。師に入席をいただき、自分との入れ札の違いを見るのもまた勉強。

❖ 一三三 通常の手前に比べての評価。師に入席をいただき、自分との入れ札の違いを見るのもまた勉強。

❖ 一三三 通常の手前に比べての評価。師に入席をいただき、自分との入れ札の違いを見るのもまた勉強。